

# 2023年12月期 第2四半期 決算説明会資料

2023年8月18日

株式会社ナカニシ

## 免責事項

資料に記載されている情報には、将来の業績に関する見通しが含まれています。これら見通しには不確定要素が含まれており、将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は、世界経済の変化や為替相場の変動等により、予想数値とは異なる場合があります。予めご了承下さい。

## 財務戦略

持続的成長を志向し「事業を成長させる」為の  
設備投資やM&Aを含めた戦略投資を積極化

## 会計方針

JGAAPに基づき「のれん」償却を継続し  
事業価値の毀損等による減損リスクを低減

## 事業本来の収益性・成長性に焦点を当てるべく 業績管理指標を営業利益からEBITDAに変更

$$\text{EBITDA} = \text{営業利益} + \text{減価償却費} + \text{のれん償却額}$$

(百万円)	2018/12 実績	2019/12 実績	2020/12 実績	2021/12 実績	2022/12 実績	2023/12 業績予想(8/7修正)
売上高	36,543	35,418	33,055	44,857	48,671	56,638
EBITDA マージン	11,269 30.8%	11,051 31.2%	10,350 31.3%	15,612 34.8%	17,493 35.9%	18,616 32.9%
営業利益	9,721	9,299	8,542	13,750	15,389	15,972
減価償却費	1,522	1,684	1,759	1,807	2,049	2,323
のれん償却額	24	67	49	54	55	320

2023年12月期 第2四半期  
**連結決算概要**

執行役員CFO 鈴木 大介

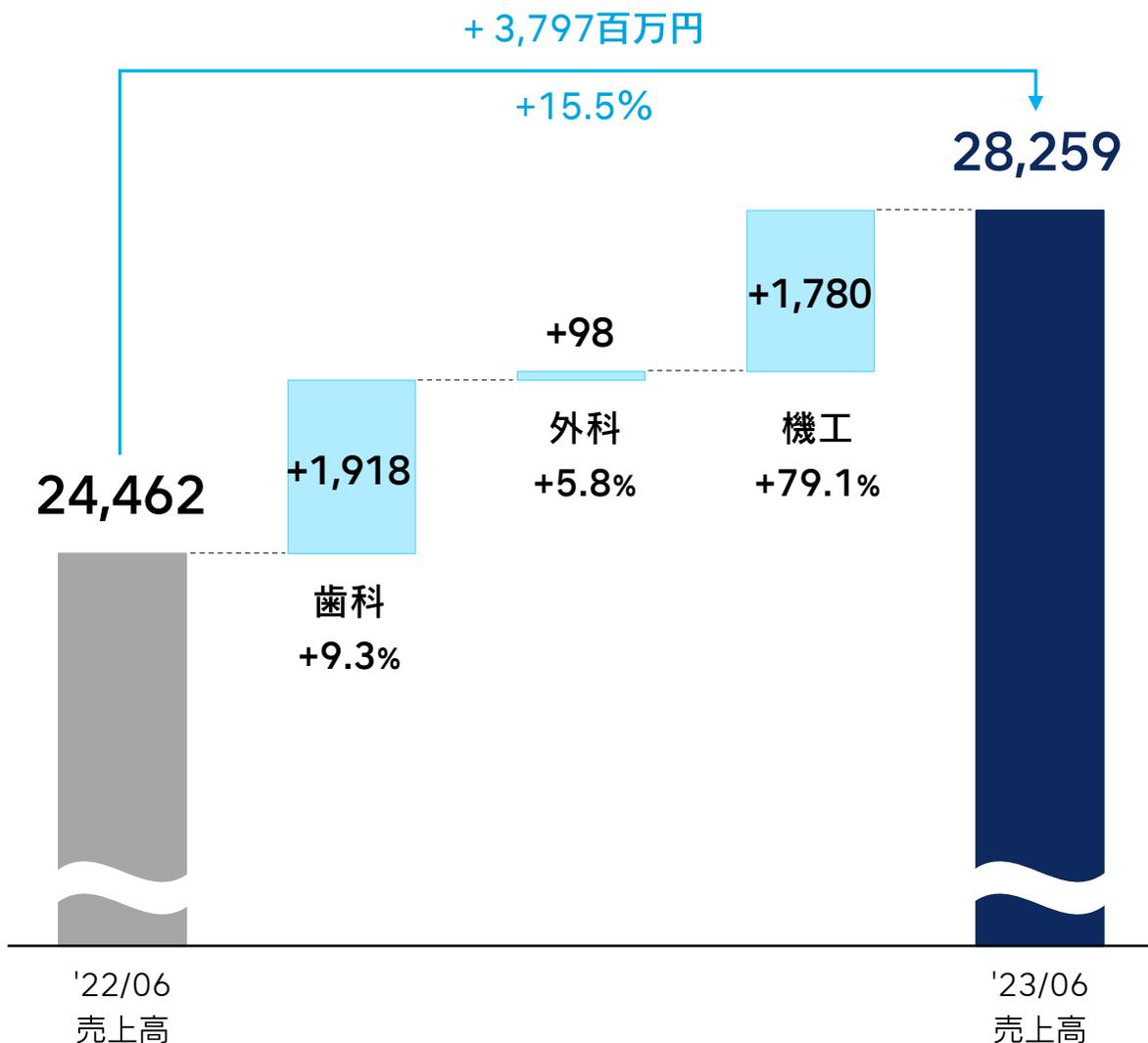
- 円安影響やイエガー社買収効果を除外しても前期比+4%の増収。  
歯科・外科・機工それぞれの事業でオーガニックグロースを実現。
- 部品不足やコロナ欠員が緩和し、生産が計画通りに推移。  
地域差があるものの、製品需要はおおむね堅調。
- 足元の需要動向と為替動向を鑑みて、通期業績予想を上方修正。  
あわせて株主還元（自己株式取得・期末配当予想）強化を決定。

百万円

		当期実績 2023/06	前年同期 2022/06	前年同期比	業績予想 2023/06	業績予想比	
売上高		28,259	24,462	+3,797	25,556	+2,703	
売上総利益		18,009	15,483	+2,526	17,070	+938	
	利益率	63.7%	63.3%	+0.4pt	66.8%	-3.1pt	
EBITDA *		9,595	9,075	+520	8,882	+712	
	マージン	34.0%	37.1%	-3.1pt	34.8%	-0.8pt	
営業利益		8,247	8,129	+117	7,616	+630	
	利益率	29.2%	33.2%	-4.0pt	29.8%	-0.6pt	
経常利益		11,247	9,490	+1,757	7,892	+3,355	
	利益率	39.8%	38.8%	+1.0pt	30.9%	+8.9pt	
親会社株主に帰属する 四半期純利益		8,103	6,750	+1,352	5,461	+2,641	
	利益率	28.7%	27.6%	+1.1pt	21.4%	+7.3pt	
E P S	(円)	95.28	78.52	—	64.14	—	
* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額							
為替レート	- 米ドル	(円)	135.99	123.16	+12.83	125.00	+10.99
	- ユーロ	(円)	147.01	134.50	+12.51	135.00	+12.01

\* 為替影響額：売上高 +1,413百万円（前年同期比），+1,404百万円（予想レート比）

百万円

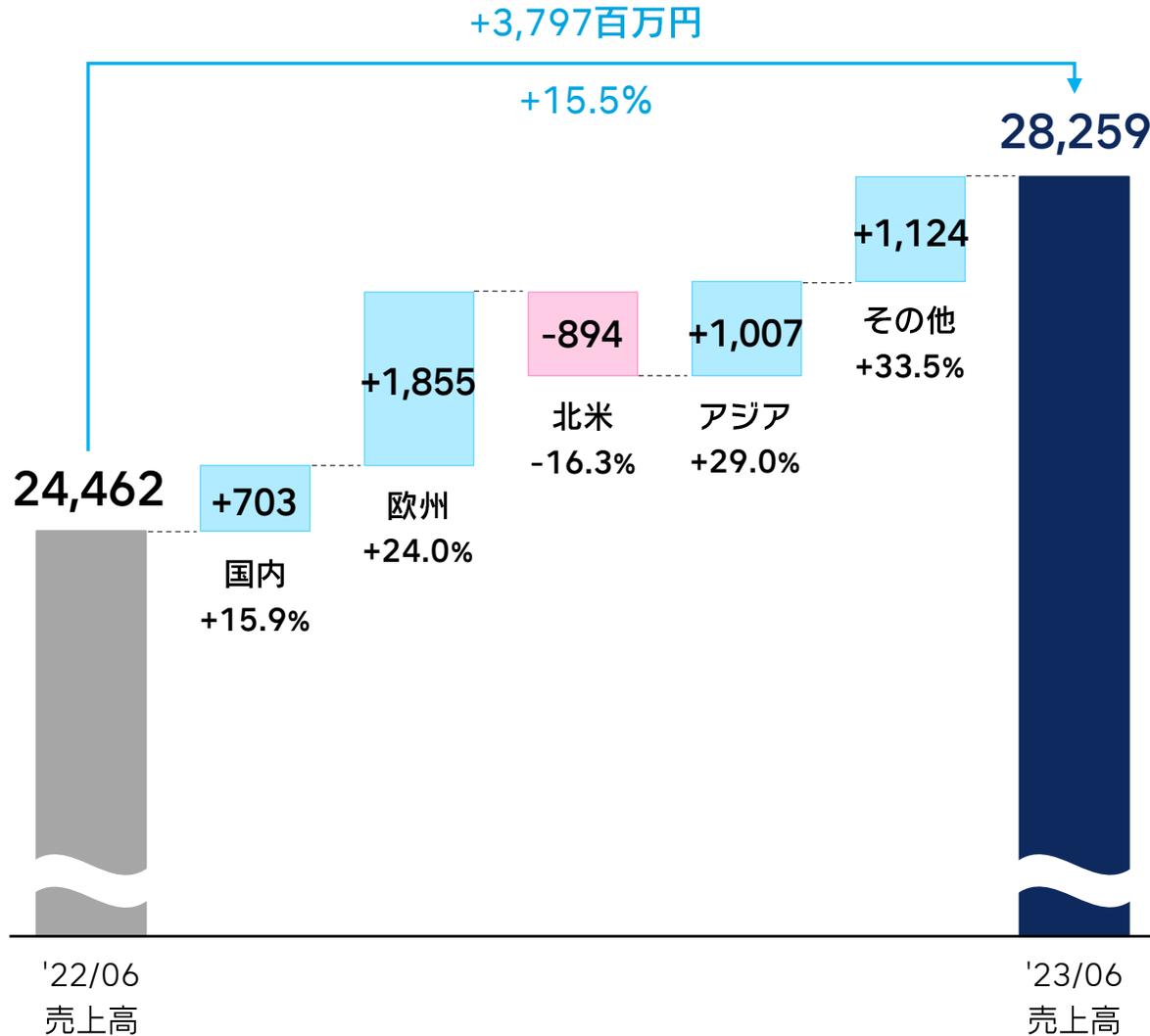


	前年同期 2022/06	当期実績 2023/06	増減
歯科事業	20,530	22,448	+9.3%
外科事業	1,681	1,779	+5.8%
機工事業	2,250	4,031	+79.1%
合計	24,462	28,259	+15.5%

為替影響額 +1,413 百万円 (+5.8%)

M&A 効果 +1,296 百万円 (+5.3%)

百万円

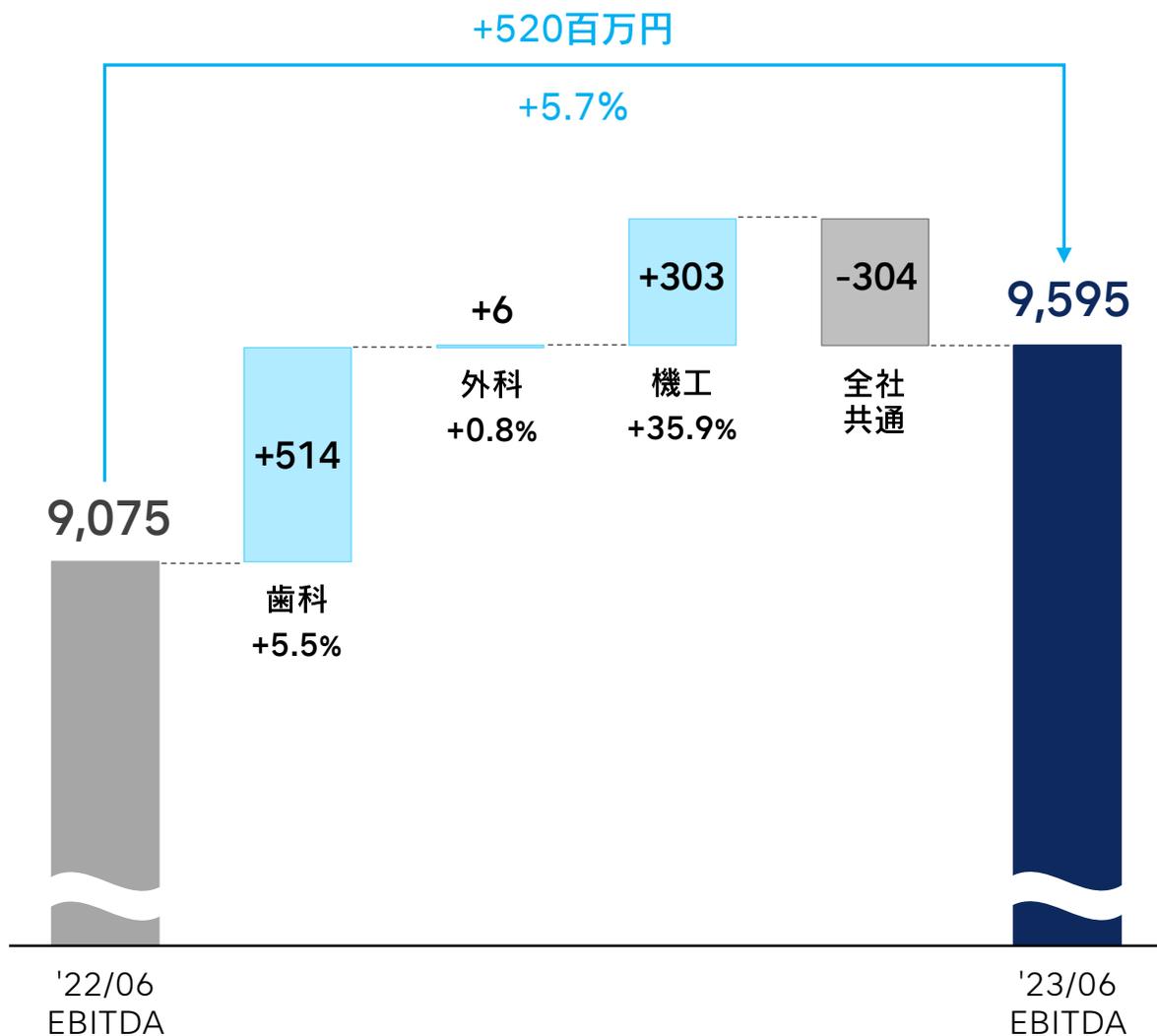


	前年同期 2022/06	当期実績 2023/06	増減
国内	4,416	5,120	+15.9%
欧州	7,740	9,596	+24.0%
北米	5,473	4,578	-16.3%
アジア	3,475	4,483	+29.0%
その他	3,355	4,480	+33.5%
<b>合計</b>	<b>24,462</b>	<b>28,259</b>	<b>+15.5%</b>

為替影響額 +1,413 百万円 (+5.8%)

M&A 効果 +1,296 百万円 (+5.3%)

百万円



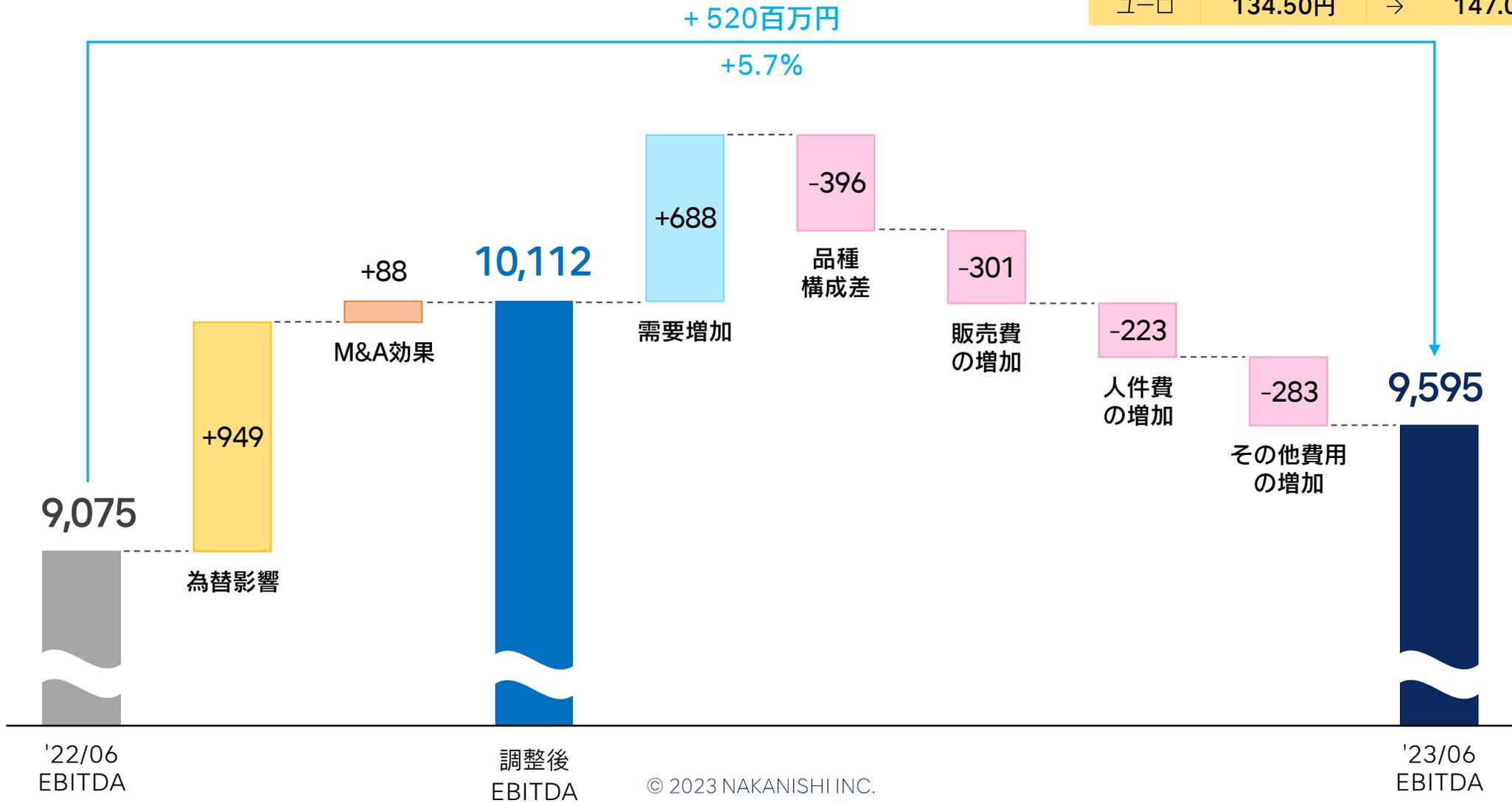
	前年同期 2022/06	当期実績 2023/06	増減
歯科事業	9,305	9,820	+5.5%
外科事業	921	928	+0.8%
機工事業	844	1,147	+35.9%
全社共通	-1,996	-2,301	-
合 計	9,075	9,595	+5.7%

為替影響額 +949 百万円 (+10.5%)

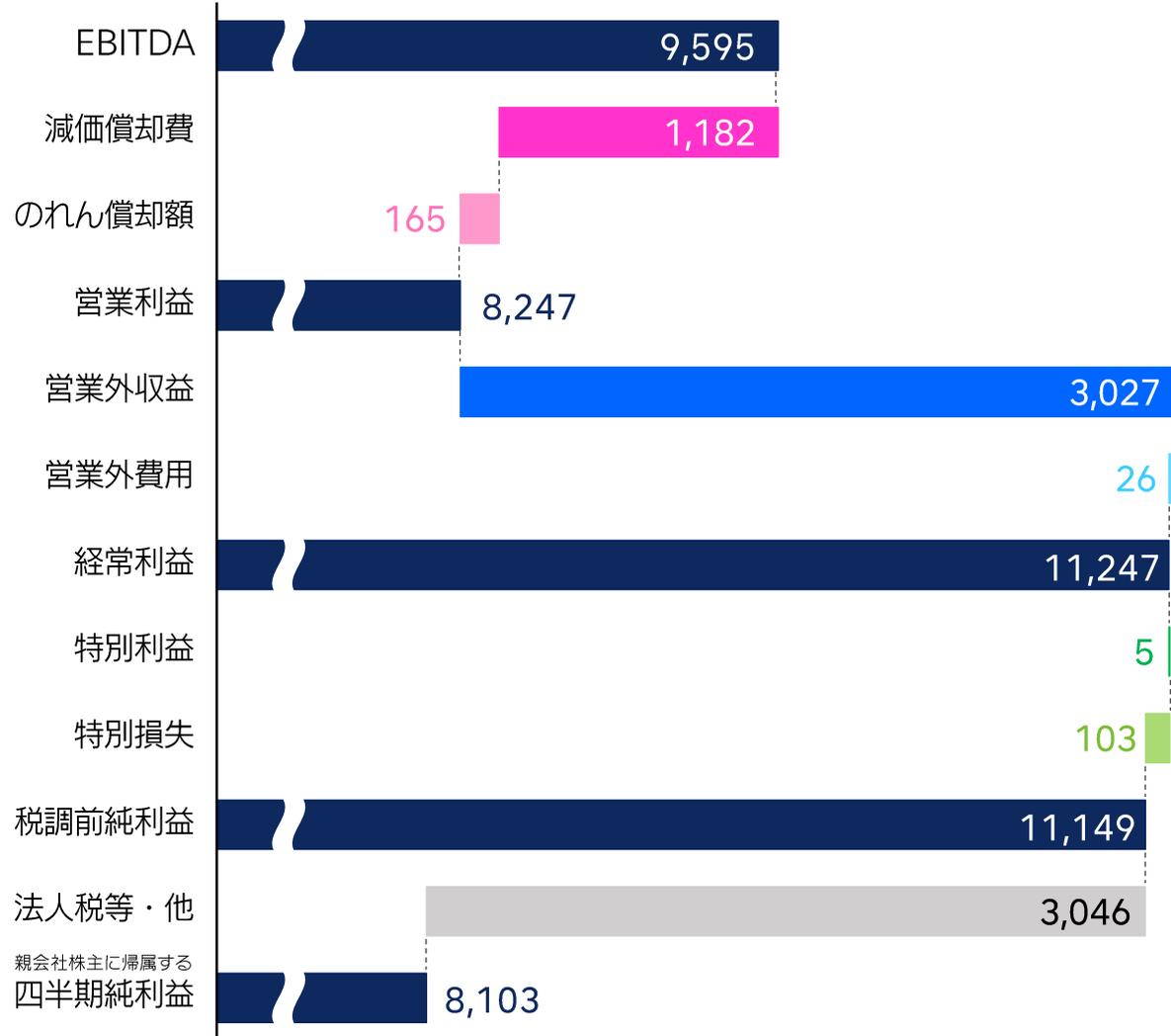
M&A 効果 +88 百万円 (+1.0%)

百万円

平均為替レート		
	2022/06実績	2023/06実績
米ドル	123.16円	→ 135.99円
ユーロ	134.50円	→ 147.01円



百万円



<b>営業外収益</b>	・ 受取利息	103
	・ 持分法による投資利益	162
	・ 為替差益	2,524
<b>営業外費用</b>	・ 雑損失	19
<b>特別利益</b>	・ 固定資産売却益	5
<b>特別損失</b>	・ 固定資産除却損	2
	・ 固定資産解体費用	100

百万円

		当期末 2023/06	前期末 2022/12	増減額	主な増減内容
総資産		111,560	102,154	+9,406	
- 現金及び預金		40,260	34,992	+5,267	
- 受取手形及び売掛金		7,577	6,106	+1,471	
- 棚卸資産		18,653	16,284	+2,368	・商品及び製品 +1,037 ・仕掛品 +350 ・原材料及び貯蔵品 +980
負債		12,082	11,131	+951	・買掛金 +355 ・賞与引当金 -505 ・流動負債その他 -545
- 有利子負債		2,100	480	+1,619	・短期借入金 +2,000 ・長期借入金 -358
純資産		99,477	91,022	+8,454	・自己株式 -496 ・為替換算調整勘定 +2,996
- 利益剰余金		99,653	93,628	+6,025	
自己資本当期純利益率	(ROE)	17.1%	14.4%	+2.7pt	
総資産経常利益率	(ROA)	21.1%	18.0%	+3.1pt	
		当期実績 2023/06	前年同期 2022/06	増減額	当期実績の主な内容
設備投資額		3,113	1,701	+1,412	・M1工場関連 2,200
減価償却費		1,182	918	+264	

百万円



8/21 内容更新

2023年12月期

# 連結業績予想の修正

DCI International, LLC 完全子会社化に伴う上方修正

百万円

	修正予想 8月21日公表	前回予想 8月7日公表	前回予想比		前期実績 2022/12	前期比	
			増減額	増減率		増減額	増減率
売上高	63,164	56,638	+6,525	+11.5%	48,671	+14,493	+29.8%
売上総利益	37,932	35,662	+2,270	+6.4%	31,221	+6,711	+21.5%
利益率	60.1%	63.0%	-2.9pt	-	64.1%	-4.1pt	-
EBITDA*	19,683	18,616	+1,067	+5.7%	17,493	+2,190	+12.5%
マージン	31.2%	32.9%	-1.7pt	-	35.9%	-4.8pt	-
営業利益	16,618	15,972	+645	+4.0%	15,389	+1,229	+8.0%
利益率	26.3%	28.2%	-1.9pt	-	31.6%	-5.3pt	-
経常利益	19,725	19,506	+218	+1.1%	17,646	+2,079	+11.8%
利益率	31.2%	34.4%	-3.2pt	-	36.3%	-5.0pt	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,894	13,842	+51	+0.4%	12,471	+1,422	+11.4%
利益率	22.0%	24.4%	-2.4pt	-	25.6%	-3.6pt	-
E P S (円)	163.37	162.77	-	-	145.48	-	-

\* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

想定為替レート (平均)

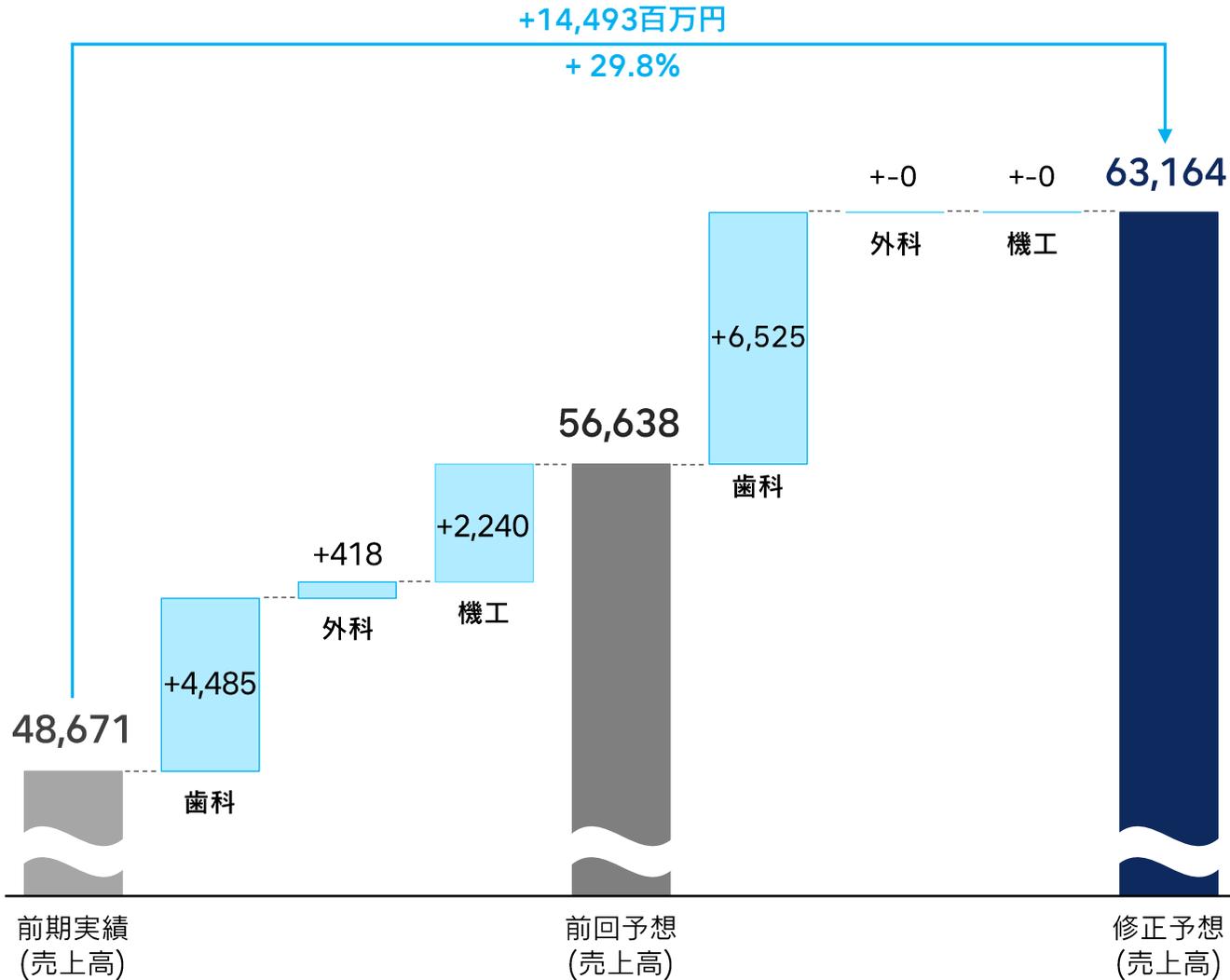
修正予想・通期

前回予想・通期

増減額

- 米ドル	(円)	135.99	135.99	00.00	参考 下半期 (7~12月) の想定レート (平均) 1米ドル = 135.99円 1ユーロ = 150.59円
- ユーロ	(円)	148.80	148.80	00.00	

百万円



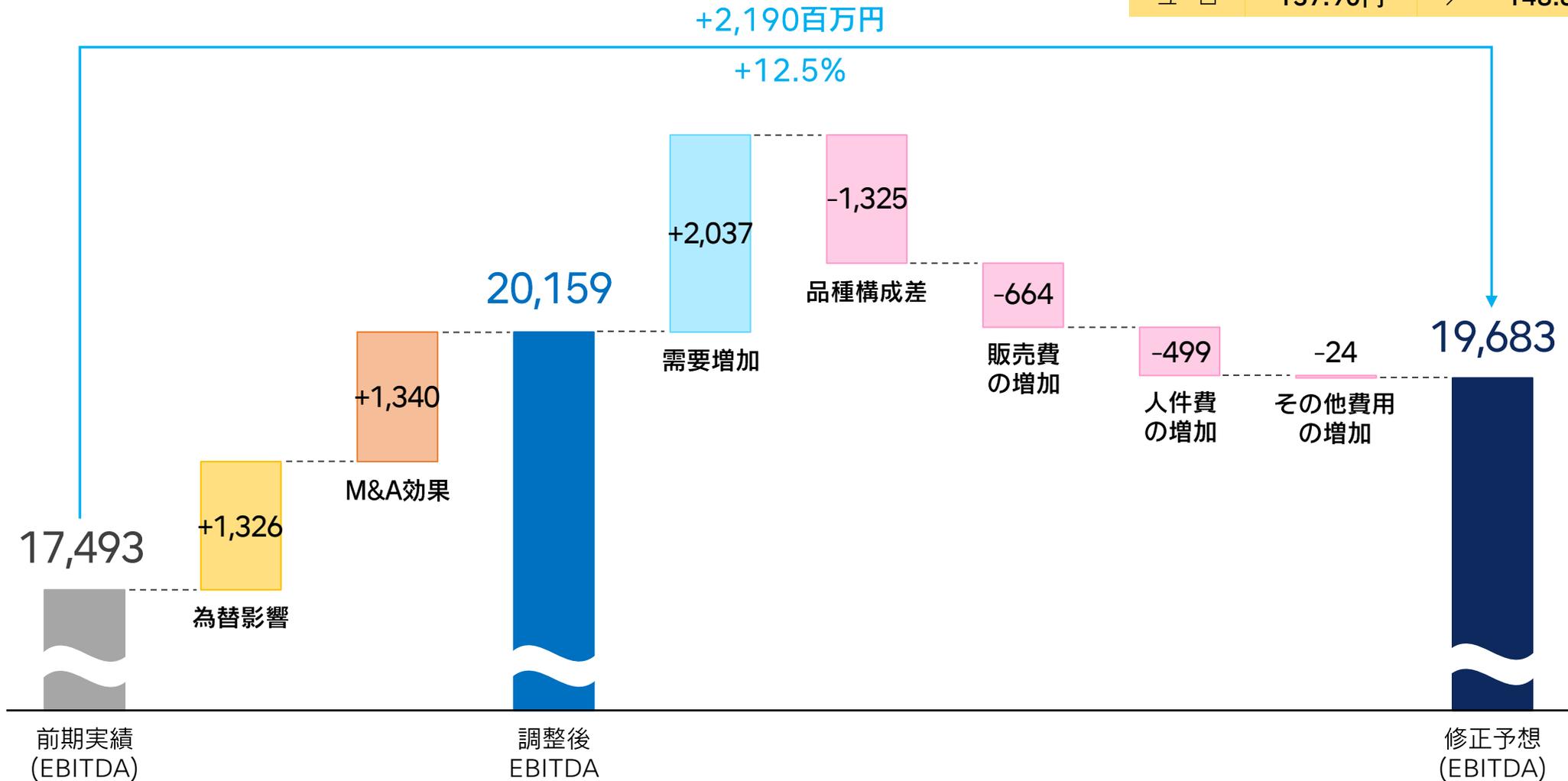
	前期実績 2022/12	前回予想 8/7公表	修正予想 8/21公表	前期比
歯科事業	40,926	45,412	51,938	+26.9%
外科事業	3,160	3,578	3,578	+13.2%
機工事業	4,584	7,647	7,647	+66.8%
合計	48,671	56,638	63,164	+29.8%

為替影響額 +1,830 百万円 (+3.8%)

M&A 効果 +9,486 百万円 (+19.5%)

百万円

平均為替レート		
	2022/12 実績	2023/12 予想
米ドル	130.77円	→ 135.99円
ユーロ	137.90円	→ 148.80円

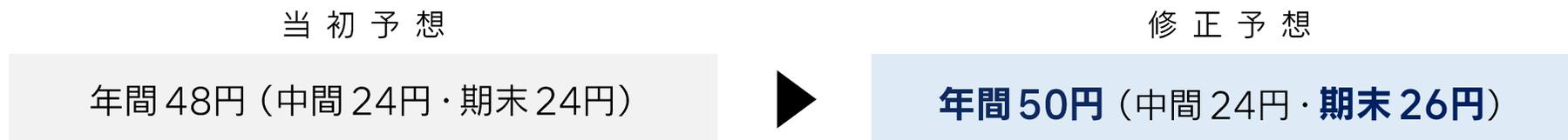


# 株主還元強化

2023年8月7日公表

剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正(増配)  
自己株式取得に係る事項の決定

## ■ 剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正(増配)



## ■ 自己株式取得



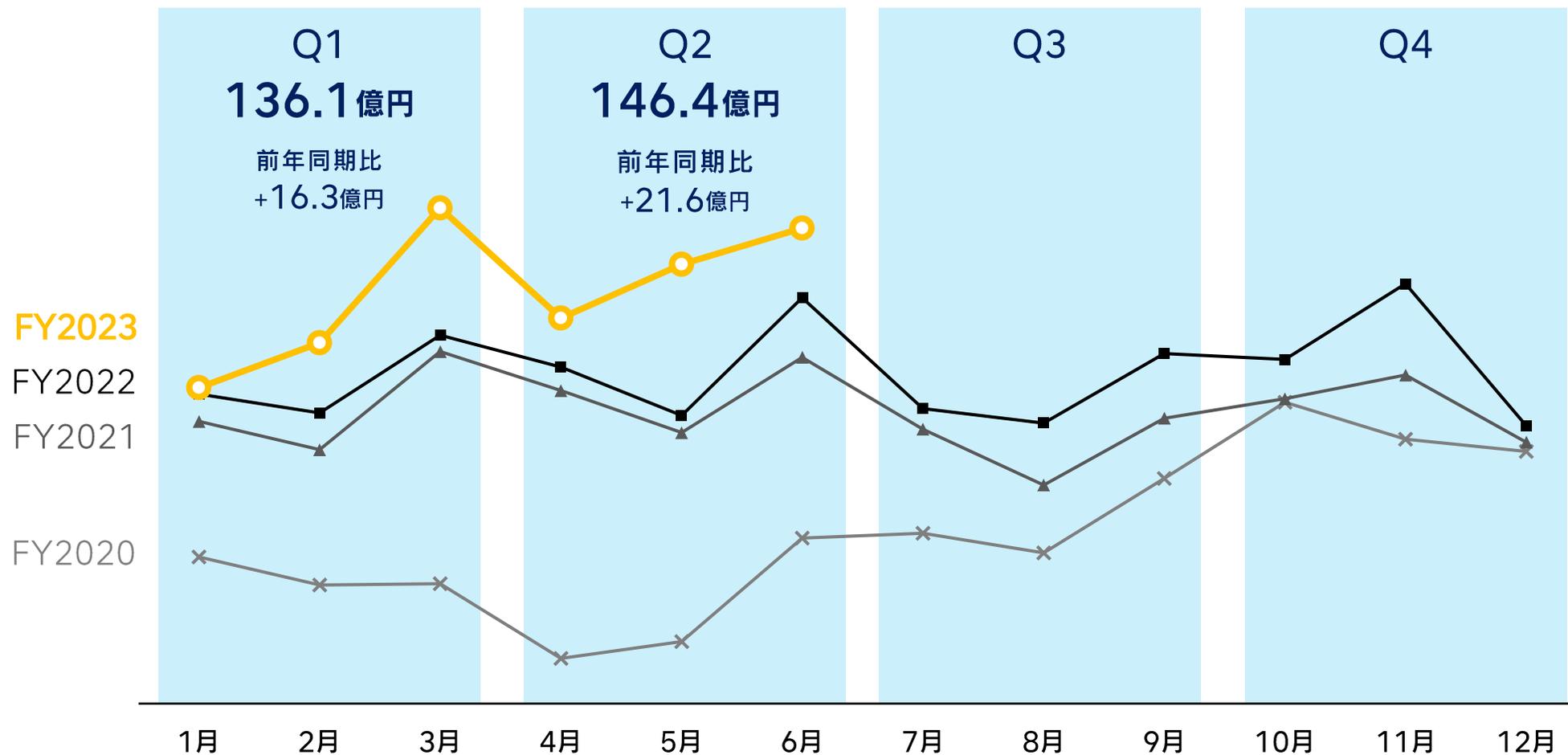
## ■ 株主還元推移

	2020/12 実績	2021/12 実績	2022/12 実績	2023/12 予想	NV2025+ 目標値
1株当たり年間配当金	30円	37円	46円	8/7修正 50円	—
自己株式取得	0千株 (0百万円)	491千株 (1,199百万円)	1,010千株 (2,499百万円)	#1 2023/03取得済 180千株 (499百万円) #2 2023/10~取得予定 1,000千株 (2,500百万円)	—
総還元性向	40.3%	43.5%	51.5%	—	50.0%

# 事業概況と今後の施策

代表取締役社長執行役員 中西 英一

部品不足・コロナ欠員の緩和で増産。3月・6月には単月売上50億円を突破。

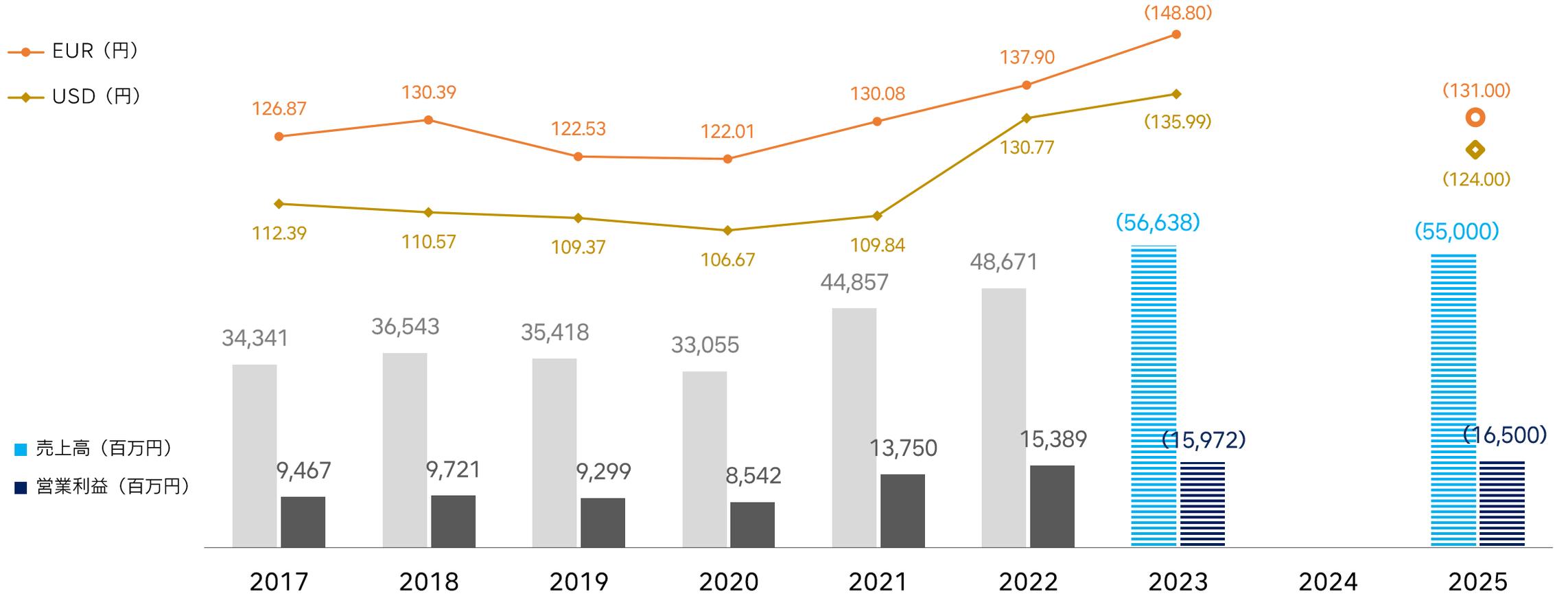


北米は減収。それ以外の地域では二桁増収を達成。



百万円

中期経営計画「NV2025+」 2020年12月期～2025年12月期



ROE (%)	12.4	11.7	10.2	8.7	12.7	14.4	>11.0
総還元性向 (%)	30.7	35.4	36.6	40.3	43.5	51.5	50.0
手元流動性比率 (ヵ月)	12.3	12.1	14.1	16.0	13.5	11.1	<12.0

## 競争力のある新製品を軸に、世界の各市場で拡販攻勢をとる

中期経営計画ローリングプラン

# NV2025+

### 基本方針と重点施策

1. デンタル事業のグローバル市場における戦略的拡大
2. 超高齢化のニーズに応える新規事業育成
3. スピーディな開発とダントツのコスト競争力を実現する経営基盤づくり

## 2023年度の進捗

- ・ 世界最大の展示会「IDS」で新製品を発表
- ・ 北米セルアウトは堅調だが在庫調整で減収
- ・ 中国工場出荷開始。国産優遇政策に対応
- ・ 世界最高性能を有する新製品を開発・上市
- ・ A1・A1+工場による精密部品増産に目途

# IDS 2023

世界最大級の歯科展示会  
第40回ケルン国際デンタルショー

会 期：2023年3月14日～18日

出展社数：64カ国・2,327社

来場者数：166カ国・160,095名





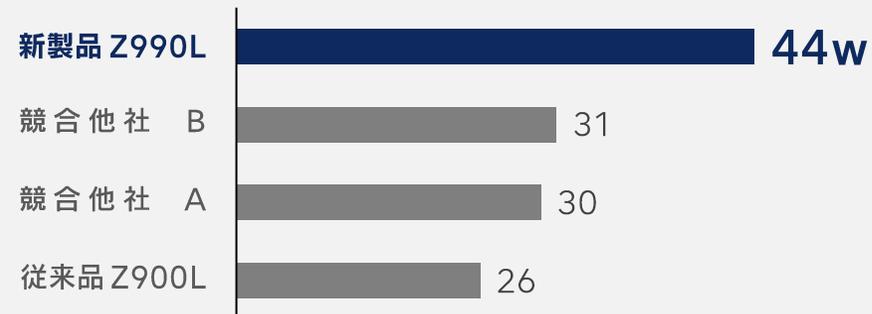
歯科用ハンドピース(エアタービン)

# Ti-Max Z990L / Z890L

デンタルチェアから供給される圧縮空気で回転する歯科用ハンドピースの新製品。史上最高峰の切削パワー(44W)を誇り、治療時間の大幅短縮に貢献。

歯科医師(治療効率化)患者(負担軽減)双方にメリットを提供

## 切削パワー比較 給気圧力0.42MPa / 自社調べ



## プロモーション動画

Ti-Max Z990L



# 米国

10月から北米市場で新製品「Z990L」の販売開始（予定）  
他社が占有するエアタービン市場に切り込み、北米での成長加速を狙う

## 製品ラインアップの拡充



▲ Ti-MaxZエアタービン  
(エア式)



▲ Ti-MaxZコントラ  
(電気モーター式)



▲ NLZ  
(電気マイクロモーター)

## NSK & DCI コラボレーションの深化



▲ DCIチェア・NSKハンドピース バンドル開始

全米ディーラー

歯科大学

DSOs  
Dental Service Organizations

# 中国

## 現地情勢に対応しつつ、中長期的な視点で事業基盤強化



● 四川工場 (2022年)  
NSK Dental Manufacturing Co., Ltd.

● 広州営業所 (2022年)

● 深圳営業所 (2022年)

● 北京営業所 (2021年)

● 済南営業所 (2022年)

● 西安営業所 (2022年)

● NSK上海 (2020年)

事業環境

### 中国産製品の優遇

大型入札案件等では  
国産品限定の表記有

事業環境

### インプラントの集中購買

インプラント体（人工歯根）  
の価格低下は当社に追い風

事業環境

### 中国メーカーの台頭

コピー品から脱却し  
独自ブランドを展開

### 現地工場から製品出荷開始

中国向けローエンド製品の  
ノックダウン生産開始

四川工場の生產品目のさらなる拡充

### インプラントモーター拡販

高い世界シェアを誇る  
「Surgic Pro」を拡販

強みである高次元の  
操作性・安全性を訴求

### 高付加価値製品の展開

製品ラインアップに  
高付加価値製品を追加

NSKブランドとしての  
性能・品質等を訴求

## A1工場・A1+工場の部品生産能力を底上げ

### 工作機械の増設

「NV2025+」設備投資計画を前倒し



### 自動化・省人化の推進

人手が掛かる加工工程を自動化



### 技能者育成の本格化

育成機関「ASK」第1・2期生を現場配置



M1

組立工場, 部品・完成品倉庫, アフターサービスセンター

生産量  
UP効率  
UPLT  
短縮サービス  
レベル  
UP省エネ  
推進職場環境  
改善

M1建設はオンスケジュール。  
持続的な成長を遂げるための  
生産基盤の強化は最終段階。

### M1建設計画概要

建設地	:	栃木県鹿沼市下日向700（本社敷地内）
延床面積	:	約20,000平米
設備投資額	:	約85億円
工事開始日	:	2023年4月
操業開始日	:	第1区画 2024年12月（予定） 第2区画 2025年12月（予定）

## 2023年 市場動向予測

### － 需要サイド －

先進国の需要過多は平常化へ  
新興国の需要は緩やかに回復

### － 供給サイド －

生産ボトルネックの解消進む  
原材料・間接費の高騰は継続

## 2023年 基本戦略

- ▶ 増産によって過剰な受注残の解消済み、本来の営業攻勢に回帰
- ▶ 米国・中国では、中期的に推進してきた事業戦略を着実に遂行
- ▶ 「A1」「A1+」のさらなる増産・「M1」建設プロジェクト遂行

## 国内



2023年4月8日~9日

近畿デンタルショー

## 上半期の概況

販売  
動向

↗  
YoY

- NSKブランド・OEMともに好調  
製品の値上げ以降も受注堅調
- 「Z990L」の販売開始。生産復調  
した電気製品の販売が伸長

## 下半期の施策

販売  
動向

→  
YoY

- 競争力のある新製品「Z990L」  
の拡販に注力
- 生産が復調してきたインプラント  
モーター等の電気製品を拡販

## 欧州



2023年5月18日~20日

Expodental (イタリア)

## 上半期の概況

販売  
動向

↗  
YoY

- 「Z990L」は好評。オーラルハイ  
ジーン製品販売が堅調に推移
- 好調続きだった英国・フランス  
の需要が一巡したもののドイツ・  
イタリア・北欧が下支え。

## 下半期の施策

販売  
動向

→  
YoY

- 熾烈なインフレから欧州需要は  
減退傾向。主力の歯科用ハンド  
ピース・インプラントモーター・  
オーラルハイジーン製品を拡販

## 北米



## 上半期の概況

販売  
動向

↓  
YoY

- セルアウトは堅調だったが代理店やOEM先の在庫調整が続き減収
- DCIチェアとNSKハンドピースのバンドル販売を開始

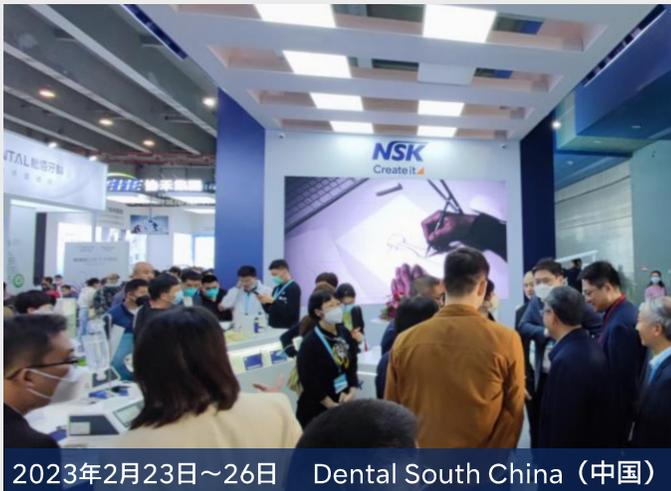
## 下半期の施策

販売  
動向

→  
YoY

- 従来からのコントラアングルや歯科用マイクロモーターの拡販に加えエアタービン「Z990L」の販売開始
- 歯科大学・DSOアプローチ継続

## アジア



## 上半期の概況

販売  
動向

↗  
YoY

- 中国需要の回復は弱いが前年同期(ロックダウン)に比べると販売増  
現地工場(NDM)から出荷開始
- 韓国は軟調、アジア諸国は堅調

## 下半期の施策

販売  
動向

↗  
YoY

- 中国工場の生産品目の拡充や営業拠点整備等、事業基盤強化を推進
- 納期正常化をふまえ、アジア市場でも積極的な営業活動に回帰

## その他の市場

## 上半期の概況

販売  
動向

YoY

## 下半期の施策

販売  
動向

YoY

## 中近東

- コロナ明けから続く緩やかな需要の回復をとらえ、販売伸長

- 回復続く入札案件への着実な対応

## 南米

- 前年までの特需が剥落。需要後退や中国勢との競争激化で販売落ち込み

- 主力である歯科用ハンドピースやインプラントモーターを拡販

## ロシア

- 現地販売は堅調に推移

- 侵攻の長期化で先行きは不透明

## 豪州

- 歯科用ハンドピースや訪問歯科診療ユニットの販売が大幅伸長

- 需要の高いインプラントモーターや訪問歯科診療ユニットを拡販

## 上半期の概況

部品不足の緩和でユニット販売増。ディスク堅調。アジアが大幅伸長し、欧米の落ち込みをカバー

YoY ↗	国内	生産復調でユニット販売伸長。ディスク販売も大きく貢献し、二桁増収を達成
YoY ↘	欧州	ディスク販売が寄与し自社ブランド伸長も、OEM消失インパクトを補えず減収
YoY ↘	北米	既存ルートの販売は堅調となったが、特需あった前年同期に比べると販売一服
YoY ↗	アジア	回復期に入った需要を着実に取り込み、中国・東南アジア諸国ともに大幅増収

## 下半期の施策

欧州のOEMビジネス消失の販売減を北米・アジアの拡販でカバーし、通期でも増収を目指す

YoY →	国内	コロナによる営業訪問自粛が徐々に正常化。医局説明会や代理店フォローを強化
YoY →	欧州	NSKブランドの拡販でOEM契約消失をカバーし、前期並みの売上水準を目指す
YoY ↗	北米	事業拡大を加速させるべく、協業先の開拓や既存パートナーとの協業深化を推進
YoY ↗	アジア	脳外科・耳科へのアプローチ強化、アフターサービス拡充を進め、売上続伸図る

## ハンズオンセミナー等、顧客アプローチを強化



2023年5月19日～21日・大阪国際会議場

**第43回日本脳神経外科コンgres総会  
ハンズオンセミナー**

## 上半期の概況

当期に入り電子部品の外部調達が想定以上に回復したことから、主力製品の販売が伸長

YoY →	国内	設備投資意欲が減退する中、積み上げた受注案件を遂行した結果、販売堅調
YoY ↗	欧州	NAKANISHI製品の伸長や新規連結効果で増収も、イエガーはテコ入れ必要
YoY →	北米	現地販売は伸び悩んだものの円安進行が追い風となり、前年同期並みに着地
YoY ↗	アジア	前年に引き続き大型案件を獲得。主力のスピンドル製品等の販売が大幅伸長

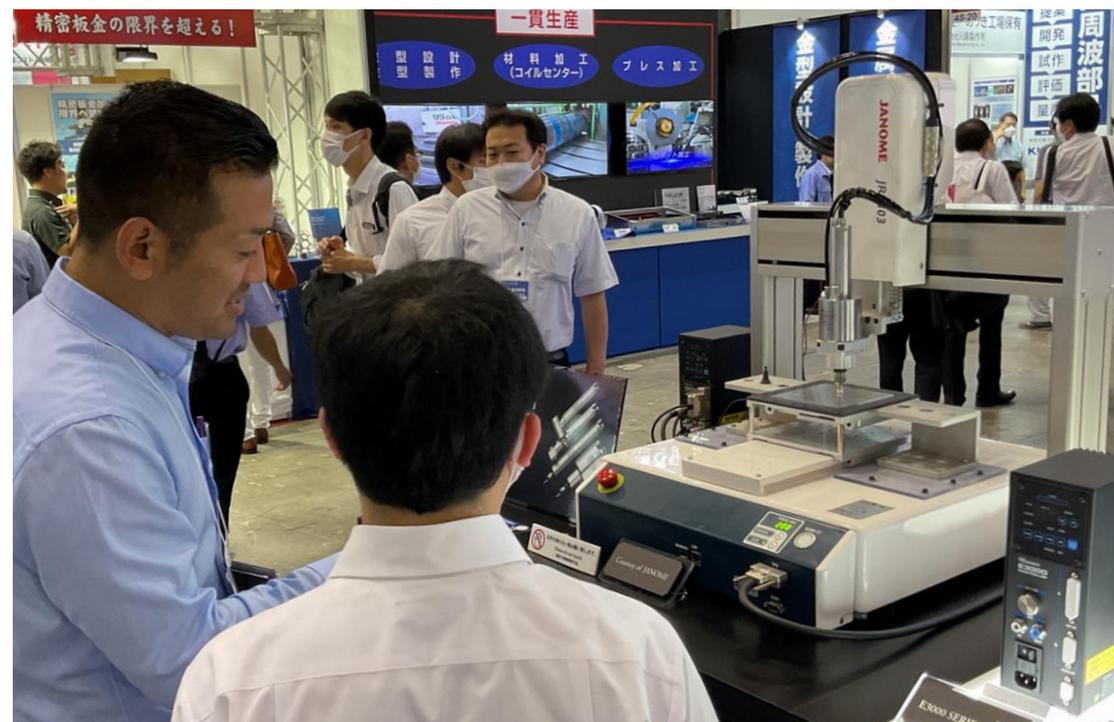
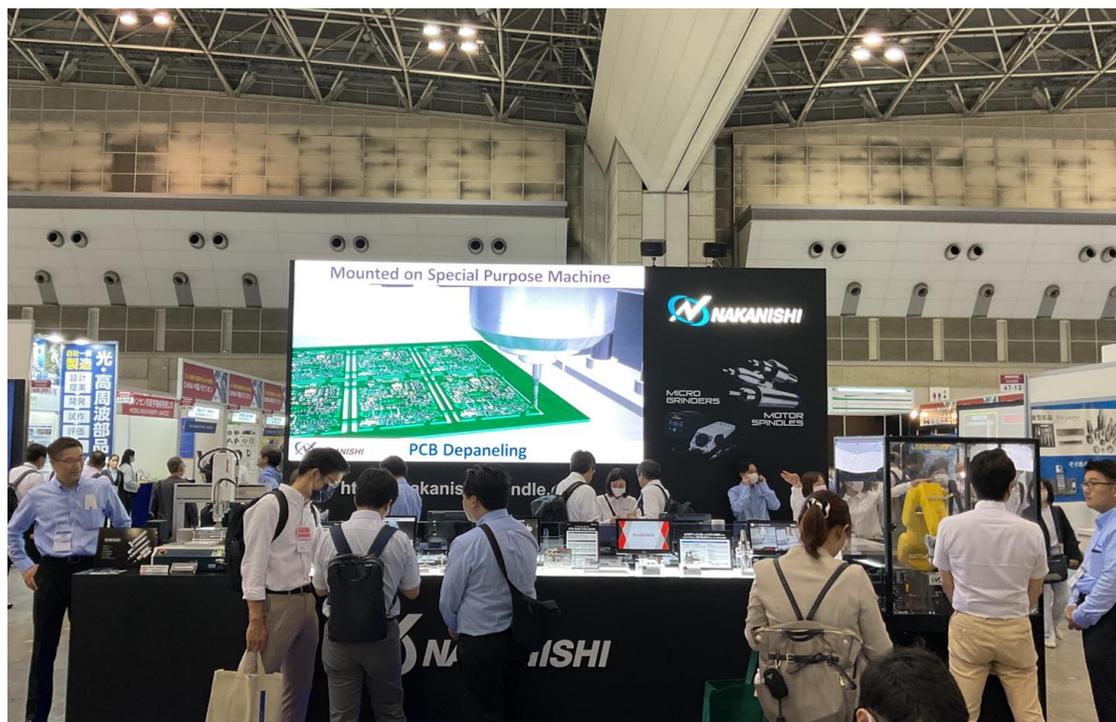
## 下半期の施策

需要後退をふまえて、パートナーとの協業深化や需要の掘り起こしに注力

YoY ↘	国内	市場軟化を受け、工作機械・工具メーカーと協業し、新規需要を掘り起こし
YoY ↗	欧州	引き続きイエガーのテコ入れに注力するとともに、PMIを粛々と遂行
YoY →	北米	生産性向上をテーマにした顧客アプローチ推進。現地法人の体制強化を継続
YoY →	アジア	丁寧な営業フォローで受注獲得を図りつつ、パートナーとの協業深化を図る

## 第28回機械要素技術展

2023年6月21日～23日・東京ビックサイト



システムインテグレーターとのコラボ事例を訴求



この度「サステナビリティレポート2023」を  
発刊しました。当社のESGに関する取り組みを  
紹介しておりますので、ご覧頂ければ幸いです。

<https://www.nakanishi-inc.jp/sustainability/>



## JPX-NIKKEI 400

当社はJPX総研および日本経済新聞社が共同算出するJPX日経インデックス400の構成銘柄に選定されました。

今後もより多くの投資家の皆様のご期待に添えるようさらなる企業価値の向上に努めてまいります。

構成銘柄の入替実施日 2023年8月31日

***NSK***